|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地域支援アドバイザー研修  地域密着型サービス担当行政と事業所のための  情報交流会 | | | | | |
|  |  |  |  |  |
| * **令和4年度地域支援アドバイザー研修　計画書** * **第１回プログラム / 地域支援型グループホーム自己点検シート** * **第2回 / 第１６回地域密着型サービス担当行政と事業所のための情報交流会より**   テーマ「災害からの再生、暮らしの根幹としての地域支援～真備町からの報告」  ＊第3回は視察研修（希望者）  **◆　第４回プログラム、サマリー** | | | この研修は、平成26年度から実施しており、昨年度で９年目となります。対象は県内のグループホームや小規模多機能事業所、行政や地域包括支援センターの職員です。  福岡県の助成金事業で、地域密着型サービスが地域の認知症ケアの拠点として役割を果たせるように、人材育成、事業所応援をする研修です。当会作成の地域支援型グループホーム自己点検シートも参照してください。  第2回目は地域密着型サービス担当行政との情報交流会との合同開催としています。今回のテーマは、災害と地域支援です。福岡県内の各地で毎年水害が発生しており、災害は避けては通れません。貴重な講演資料を掲載しています。  令和3・4年度はコロナ禍であることから、オンラインとなり、4年度は希望者による視察も含めた４回シリーズとしました。コロナ禍、なかなか難しくなった地域との交流、地域支援ですが、さまざまな事業所の取り組みを学びながら、自分たちにできることを探っていきます。  今年度の特徴は、６人のサポーターと共に学んだという点です。認知症当事者の福田人志さん（長崎県在住）もサポーターの一人です。当事者の声を聴き、共に学ぶ良い機会となりました。6人のサポーターが、どんな取り組みをされているのか、実際に何ができるか、どうしたらできるか、皆さんの事業所で話し合うヒントになれば幸いです。 | |